

小矢部市立石動公民館

◆事業の目的

「学びあい・ふれあい・むすびあい」をモットーに、地域づくりの拠点施設である公民館の役割と位置付け、子ども達の自然体験を通し、ふるさと学習を推進することを目的とする。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
11月19日(土)	今石動城址と町立ての歴史 訪ねよう・知ろう	(野外活動) 観音寺・今石動城址・城山公園・ 愛宕神社・永伝寺・本行寺・馬場	38名
12月10日(土)	ふれあい三世代もちつきと郷土 の民話を聴く(パネルシアター)	石動公民館	101名
1月14日(土)	ふれあい左義長(石動中部・北 部・南部地区)	石動中学校グラウンド	430名
1月15日(日)	ふれあい左義長(石動西部地区)	石動高校ホッケー場隣り空地)	170名

◆事業の様子

☆「今石動城と町立ての歴史 訪ねよう・知ろう」

小雨の中、今石動城址まで歩く。牧野講師と合流し、本丸跡、二の丸跡等一緒に登りながら説明を聴く。はじめての人も多く、感動した。次に愛宕神社に行き絵馬やお宮の歴史等のお話を聴く。昼食後、永伝寺・本行寺・観音寺等を回る。観音寺では、小矢部の獅子舞の歴史等について、寺との関わりを聴く。石動はたいへん神社や寺の多いことを実感する。

☆「ふれあい三世代もちつきと郷土の民話を聴く会」

小さい子は参加者と一緒に餅をついた。高学年の子どもは、軽い杵で1人でもちつきを体験した。和室に移動して、郷土の民話の紙芝居やパネルシアターを見た。

☆「ふれあい左義長(石動中部・北部・南部地区)」

午後1時から会場の準備をして、練習したかきぞめを子ども達が左義長の周りに飾りつける。5時から祈願をし、5時30分に火入れをする。

☆「ふれあい左義長(西部地区)」

午前9時より左義長の組み立て準備をする。子ども達がかきぞめを左義長の周りに下げる。11時から左義長に火をつける。

左義長を通し、楽しく三世代のふれあいを体験した。



◆事業の成果と課題

地元に住みながら、はじめて今石動城址跡に行った人達がほとんどで、はじめて登った城山城址跡に感動した。さらに、前田家ゆかりの寺や神社、歴史が沢山ある事も知った貴重な体験だった。今後は、城山城址の周辺を整備し、多くの人に知ってもらえる様な取組みをみんなでお願いしていきたい。

また、もちつきや左義長をとおして昔からの行事を知り、三世代ふれあいを深めることができ、子どもたちにも貴重な体験になったと思う。

これからも公民館と地域の人たちが関わりを持ちながら、子ども達にふるさとに対する愛着や、誇りをもつ心を育むような取組みを行っていきたい。